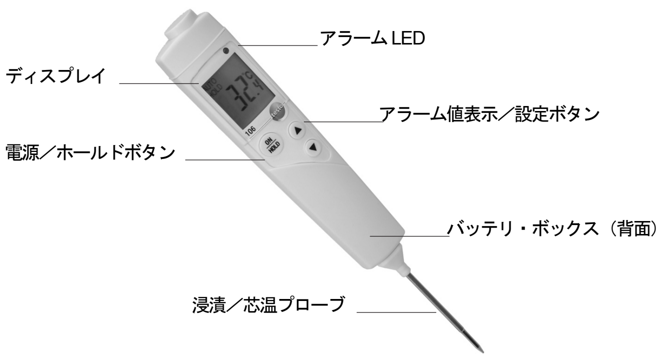
testo 106
食品用中心温度計

取扱説明書

1．　はじめに

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱方法をご理解ください。この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。

2．　各部の名称



testo 106 取扱説明書 0973 1063J (03.2011)

保証書

無償修理をお約束する保証期間は出荷日から１年間です。
但し、以下の場合は保証期間中でも有償になります。
(1)　取り扱いの過誤による故障
(2)　製品の改造、不当な修理により発生した故障
(3)　天災地変などの不可抗力による故障及び損傷
(4)　故障原因が本製品以外に起因する場合
(5)　保証書の提示がない場合
(6)　電池交換
修理のご依頼時には、製品に本書を添付の上、不具合内容を明記してお買い上げの販売店はたは弊社サービスセンターにご送付ください。なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

品　　名	testo 106 食品用中心温度計	
型　　番	0563 1063 (本体: 0560 1060)	
ご購入の販売店名	（ご購入日:　　年　月　日）	

株式会社テストー
■ 本社
〒222-0033　横浜市港北区新横浜 2-2-15　パレアナビル 7F
・セールス　TEL.045-476-2288　FAX.045-476-2277
・サービスセンター(修理・校正)　TEL.045-476-2266　FAX.045-476-2277
■大阪営業所
〒530-0055　大阪市北区野崎町 7-8　梅田パークビル 9F
TEL.06-6314-3180　FAX.06-6314-3187
ホームページ: http://www.testo.jp　e-mail: info@testo.co.jp

3．　安全上のご注意

次の安全上の注意をよくお読みください。

感電の回避

- 通電部分の上あるいは近くで測定を行わないでください。

安全な取り扱い／保証条件の遵守

- テクニカルデータに記載されている範囲内の測定にご使用ください。無理な力を加えないでください。
- 溶剤（例えばアセトンなど）と一緒に保管しないでください。
- 取扱説明書に記載されているメンテナンスのため以外、測定器を開いたり分解しないでください。

廃棄方法

- 不要になった充電式バッテリや使用済のバッテリは、定められた方法で適切に廃棄してください。
- 製品寿命により、お使いの測定器が使用できなくなった場合は、産業廃棄物として定められた方法で処分して下さい。

4．　機能概要

testo 106 食品用中心温度計は、各種食品の中心温度測定に適した堅牢な温度計で、次のような業種／領域の温度測定に最適です。

・食品業界: 食品の製造、調理段階における温度のスポットチェック
・液体、ペースト状、半固形状食材の温度測定

本温度計を次のような測定使用しないでください。
・爆発の危険がある場所での測定
・医療目的のための体温測定

5．　テクニカルデータ

項目	testo 106 食品用中心温度計
測定範囲	-50～+275℃
分解能	0.1℃
精度±1digit	±0.5℃（-30.0～+100.0℃） ±1.0℃（-50.0～-30.1℃） 測定値の±1%（+100.1～+275℃）
応答速度 t99	10 秒（液体温度を測定した場合）
測定頻度	2 回／秒
動作温度	-20～+50℃
輸送・保管温度	-40～+70℃
電源	CR2032（ボタン型電池）×2 個
バッテリ寿命	350 時間（標準）
ハウジング	ABS
保護クラス	IP67（TopSafe プロテクタ装着時）
外形寸法	220×35×20mm
CE ガイドライン	89/336/EEC に適合
保証	1 年間

規格に関して
この製品は、TopSafe ガイドライン EN13485 に適合しています。
適合性:　ST（保管・輸送）
環境:　E（ポータブル温度計）
精度クラス:　0.5
測定範囲:　-50～+275℃
EN13485 によれば、測定器は EN13486 で、定期的に検査・校正を行うよう規定されています。（推奨：1 回／年）
※EN13485　ポータブル測定器に関する要求事項
※EN13486　使用するデータロガーやポータブル測定器の校正

6. 初期操作

本温度計はバッテリ（ボタン電池）で動作します。まず最初にバッテリを装填してください。

1　バッテリ・ボックスの蓋を開けます。
2　＋－の極性に注意してバッテリ（ボタン電池 CR2032×2 個）を装填します。
3　バッテリ・ボックスの蓋を閉めます。

7. 機能/操作

・サウンド機能をオンに設定（8 章 4）すると、ホールド・ボタンHOLD ONを押す度に、またはアラーム値を超える度に、ブザーが鳴ります。

・アラーム LED 機能をオンに設定(8 章 5)すると、上限あるいは下限アラームの設定値（7 章 3 参照）を超えるとアラーム LED が点滅します。

・電源自動オフ機能をオンに設定（8 章 6）すると、一度も操作ボタンが押されない状態が 10 分間続いたとき、温度計の電源が自動的に切れます。

・自動ホールド機能をオンに設定（8 章 3）すると「AUTO HOLD」の文字が点滅します。設定した監視時間内の温度変化が 0.2℃以内になると測定値が固定表示され、「AUTO HOLD」の文字が点灯状態になります。

▸ 自動ホールド測定の再スタート: 「AUTO HOLD」の文字が点灯しているときにHOLD ONボタンを押します。

７．１　電源オン／オフ

▸ HOLD ONボタンを押して電源を入れます。
▸ HOLD ONボタンを押し続けると電源が切れます

７．２　測定

温度計の電源を入れます。

▸ 測定対象物にプローブの先端を差し込みます。
- 測定値がディスプレイに表示されます。
▸ 必要に応じて、自動ホールド機能（AUTO HOLD）のオン、オフを変更してください。（８章３を参照）

測定値のホールド（自動ホールド機能をオフに設定している場合）

▸ 測定中にHOLD ONボタンを押します。
- 測定値が固定表示され、「HOLD」の文字が点灯します。
▸ 再度HOLD ONボタンを押すと、測定が再スタートします。

アラーム値を超過

- 「↑ALARM」（アラーム上限値超過）または「↓ALARM」（アラーム下限値超過）が点灯します。アラーム LED 機能がオンに設定されていれば、アラーム LED も点滅します。

７．３　アラーム限界値の設定

温度計の電源を入れます。

1　▲（アラーム値表示／設定）ボタンを押して、アラーム上限値モードにします。↑（アラーム上限マーク）と現在の設定値が表示されます。または、▼（アラーム値表示／設定）ボタンを押して、アラーム下限値モードにし、下限値の設定をします。

2　▲または▼を押して、アラーム値を設定します。ボタンを押し続けると、数値の表示変化が速くなります。

3　HOLD ONボタンを押して値を確定します。温度計は測定モードになります。

▸ 必要に応じて、上記の手順で上／下のアラーム値の設定を変更します。

8. 温度計の設定

温度計の電源を一度切ります。

1　HOLD ONボタンを押し続けて、設定モードにします。

2　温度単位（℃またはº F）が点灯します。▲ボタンを押して、希望の温度単位（℃またはº F）を選択します。HOLD ONボタンを押して確定します。

3　「AUTO HOLD」と「On」または「OFF」が点灯します。▲ボタンを押して自動ホールド機能のオン、オフを切り替えます。HOLD ONボタンを押して確定します。

自動ホールドをオンにした場合：

▸ 測定値のホールドを行うにあたり、測定値が安定した状態（0.2℃以内の変化）であると判断する経過時間（5, 10, 15, 20 秒）を▲ボタンで設定し、HOLD ONボタンを押して確定します。

4　マークが表示されたら「On」または「OFF」でアラーム音の設定をします。▲ボタンを押して、サウンド機能のオン、オフを切り替えます。HOLD ONボタンを押して確定します。

5　マークが表示されたら「On」または「OFF」でアラーム LED の設定をします。▲ボタンを押して、アラーム LED 機能のオン、オフを切り替えます。HOLD ONボタンを押して確定します。

6　「AUTO OFF」と「On」または「OFF」が点灯します。▲ボタンを押して、電源自動オフ機能のオン、オフを切り替えます。HOLD ONボタンを押して確定します。

- これで温度計の設定は完了です。温度計は測定モードになります。

9. メンテナンス

９．１　温度計のクリーニング

研磨剤の入った洗剤等は使用しないでください。

▸ 石鹸水などで湿らせた布で、ハウジングやプローブを軽く拭いてください。

９．２　バッテリの交換

この記号が表示された時はバッテリの交換が必要です。
（注: 電源オンのセグメントテスト時には必ず表示されます。）

1　バッテリ・ボックスの蓋を開けます。
2　＋－の極性に注意してバッテリ（ボタン電池 CR2032×2 個）を装填します。
3　バッテリ・ボックスの蓋を閉めます。

10. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対策
が点灯(測定中)	バッテリが空です	▸ バッテリを交換してください
――― が点灯	測定範囲を超えています	▸ 測定範囲内で測定してください
温度計の電源が入らない	バッテリが空です	▸ バッテリを交換してください
温度計の電源が切れてしまう	自動電源オフ機能がオンになっています	▸ 自動電源オフ機能をオフに切り替えてください（８章３を参照）

ここに記載されていない問題が発生した場合は testo サービスセンターにご連絡ください。

11. アクセサリ

製品名	製品型番
TopSafe プロテクタ	0516 8265
冷凍食品用穴あけドリル	0554 0826
プローブ保護キャップ付壁掛け用ホルダ	0554 0825